

中野 寛之 議員

(一問一答方式)



- ①放課後児童クラブについて
- ②大洲市LINE公式アカウントについて
- ③プレコンセプションケア
(思春期からの男女の健康管理)について
- ④5歳児健診について
- ⑤中学校部活動の地域展開について

送迎方法の緩和について

問 児童クラブから子どもが帰宅する際、保護者等による送迎が原則となっているが、高学年であれば子どもだけでの帰宅を認めるなど、子どもの送迎方法について見直しを行うつもりはないか伺いたい。

答 放課後児童クラブは、就労等により保護者が昼間家庭にいない小学生児童に対し、安全かつ安心して過ごせる生活の場を提供することを目的として運営をしており、児童の引渡しにおいても、その安全確保を最優先事項として位置づけています。このことから、現在の運用は原則保護者、または保護者が事前に指定した成人に迎えに来ていただくこととしていますが、働き方の多様化などにより、近年迎えを緩和できないかといった相談が増えています。

こういった新たなニーズへの対応に向けて、現在、保護者の皆様へアンケートの準備を進めており、現状を把握し、現行制度の見直しと課題の整理を行い、保護者に寄り添った送迎の新たなガイドラインを作成することとしています。

なお、変更後の運用に関しては、ガイドライン作成後、それぞれの放課後児童クラブに周知徹底を行い、夏休み前を目途に開始したいと考えています。

大洲市LINE公式アカウントの運用改善について

問 大洲市LINE公式アカウントについて、他の自治体の活用事例等と見比べると、本文上でやり取りができない点など改善の余地が大きいと感じているが、理事者の見解を伺いたい。

答 本市のLINE公式アカウントの運用について

は、主にメッセージ配信を中心に行い、またLINE画面上のメニュー表示から、広報おおずや休日夜間当番医などの情報に素早くアクセスできるようリンクを設けています。

LINEにはメッセージ配信以外にも申請手続や道路損傷の通報など、様々な機能があります。引き続き、各種サービスや各自治体の運用事例を研究するとともに、既に申請手続や各種アンケートで導入しているえひめ電子申請システムとの連携など、利用される方がより便利に活用できるよう、LINEからホームページや各種システムへの誘導をする動線の整備などについても改善を図りたいと考えています。

大洲市部活動地域移行推進計画について

問 計画期間は、令和5年度から7年度の3年間であり、今年度が最終年度となっている。これまでどのような議論が進んできたのか、また現時点での進捗状況はどうなっているのか伺いたい。

答 令和6年3月に休日部活動の地域移行の実現に向け策定した大洲市部活動地域移行推進計画は、国の委託事業を活用した実証事業により、具体的な取組を行うことで、課題の洗い出しや組織体制づくり等を協議検討し、活動環境等が整った部活動から段階的に地域クラブ等での活動に移行していく計画となっています。現状としては、モデル事業として、学校部活動の受け皿の一つである地域クラブでの活動を見据え、明らかになった課題等を検証し、改善策を図りながら、他の部活動の指標となるよう活動環境の整備を進めています。

また、国の現状では、令和5年度から令和7年度までの3年間で改革推進期間と位置づけ、段階的に地域移行していくことを目標としていましたが、令和8年度から令和13年度までの6年間で改革実行期間と位置づけ、部活動を地域スポーツ団体などに委ねる地域移行を地域展開と名称変更するとともに、これまでの休日に加えて、平日での取組を進める方針を示す新たな目標が定められました。このような現状を踏まえ、本市では大洲市部活動地域移行推進計画の見直しや改定を行い、将来にわたって生徒が継続的にスポーツ、文化芸術活動に親しむ機会を確保、充実させるために取組を進めています。